

平成30年11月14日

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
放射線医学総合研究所 人材育成センター
センター長 根井 充

平成30年度 原子力規制人材育成事業
「第3回防護一般課程」「第2回防護健康影響課程」研修のご案内

拝啓

ご関係者各位におかれましては時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、標記研修を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。
ポスター、チラシを同封させて頂きましたのでお目通しいただき、ご掲示、教員の方へ
配布いただけますと幸甚でございます。
お手数をお掛けしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

<第3回防護一般課程>

1. 募集人員 24名
2. 研修期間 平成31年2月18日(月)～3月1日(金) 10日間
3. 受講料 無料
4. 受付期間 平成30年11月16日(金)～平成31年1月10日(木)※

<第2回防護健康影響課程>

1. 募集人員 24名
2. 研修期間 平成31年3月11日(月)～3月22日(金) 10日間
3. 受講料 無料
4. 受付期間 平成30年11月16日(金)～平成31年1月24日(木)※

※応募状況により変更になる場合があります。

以上

お問い合わせ先

〒263-8555 千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号
国立研究開発法人
量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
人材育成センター 研修業務室
TEL 043(206)3048
E-mail kenshu@qst.go.jp
ホームページ
<http://www.nirs.qst.go.jp/information/training/kisei/index.html>

春、**研修生募集**

感じる、考える、

10日間

受講料無料

学生に限り旅費(交通費・宿舎料)支給

■ 放射線防護を実践的に学ぶ ■

第2回防護健康影響課程

放射線利用に伴うリスクと放射線から得られる利益を考え、科学的・客観的に原子力規制、安全面を判断し、実践することができる若い人材の育成を目的としています。特に実習・演習に重点を置いた体験型の研修が特徴です。

■日程 平成31年 **3月11日(月)~3月22日(金)**

■申し込み締め切り 平成31年1月24日(木) 応募状況により変更になる場合があります。

放射線リスクに関して住民とリスクコミュニケーションできるよう、講義と実習を通して放射線影響について学びます。

応募資格 理工系分野の大学生、大学院生、
高等専門学校4~5年生(社会人も応募可)

募集定員 各研修 24名

実施場所 放射線医学総合研究所

本研修は、原子力規制庁の原子力規制人材育成事業であり、原子力規制に関わる若い人材を広く育成することを目的としています。

詳しくはWEBへ



国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
放射線医学総合研究所
人材育成センター

〒263-8555 千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

HP <http://www.nirs.qst.go.jp/information/training/kisei/course02.html>

放医研 無料研修

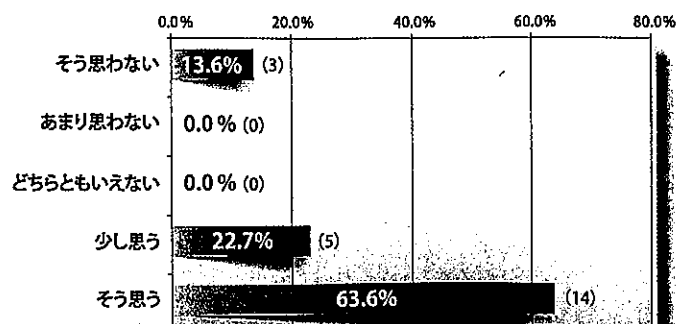


研修生の声

- 全ての授業で、大学の授業とは違った新鮮さがあり、丁寧で分かりやすい資料と説明だと感じ、よく吸収できたと思う。
- リスクコミュニケーション演習は特に印象に残っている。他の専門的知識を持つ人と協力して決められたテーマで討論しそれを専門家から評価してもらえるというのは貴重な機会でいい経験になった。
- 知識学習と実習のバランス、内容がとてもよかった。

今年度8月実施の5日間コース「第2回防護健康影響・短期課程」アンケート

「今回の研修は、あなたにとって有意義でしたか」



第2回防護健康影響課程 時間表

期間：平成31年3月11日(月)～3月22日(金)
 実施：放射線医学総合研究所 人材育成センター

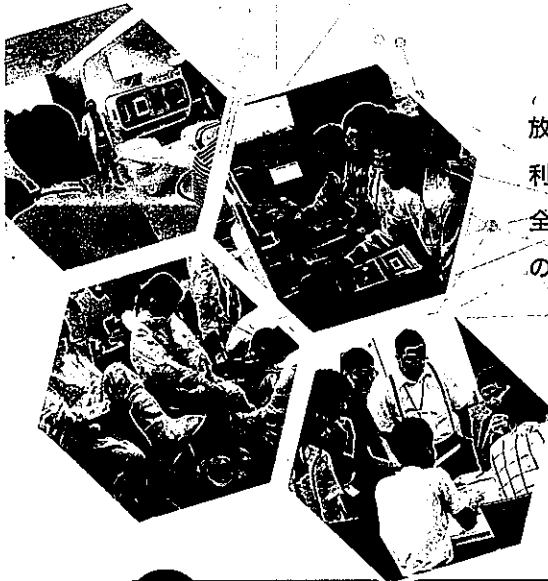
第1週	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
3/11 (月)	9:00～9:10 開講式	9:10～10:10 プレテスト ガイダンス 自己紹介 (参加理由など)	I 10:20～11:50 放射線防護体系		II 12:50～14:20 国際機関と日本の役割		III 14:30～16:00 放射線被ばく関係法令	IV 16:10～17:00 【放射線取扱施設見学】 新治療研究棟 立入説明 (16:10～16:15) 見学：加速器工学部 (16:25～17:00)	
3/12 (火)		I 9:00～10:30 放射線生物学	II 10:40～12:10 放射線の人体影響			III 13:10～17:00(休憩10分×2) 【実習】 生物学実習(1)			
3/13 (水)		I 9:00～10:30 低線量影響	II 10:40～12:10 【実習】 体表面汚染検査			III 13:10～17:00(休憩10分×2) 【実習】 生物学実習(2)			
3/14 (木)		I 9:00～10:30 食品中放射性物質の 基準の考え方	II 10:40～12:10 原発事故の環境影響			III 13:10～17:00(休憩10分×2) 【実習】 生物学実習(3)			
3/15 (金)		I 9:00～10:30 リスクコミュニケーション (1)	II 10:40～12:10 リスクコミュニケーション (2)		III 13:10～14:40 【実習】 オートラジオグラフィ(1)	IV 14:50～16:20 福島の生物環境研究			
第2週	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
3/18 (月)		I 9:00～10:30 放射線管理概論	II 10:40～12:10 線量評価法		III 13:10～14:40 【講義と見学】 緊急被ばく医療 (見学：緊急被ばく医療施設) 講義時間(13:10～14:00) 見学時間(14:10～14:40)	IV 14:50～17:00 【放射線取扱施設見学】 低線量影響実験棟 マイクロビーム照射装置 講義時間(15:00～15:30) 見学時間(16:40～16:15、16:25～17:00)			
3/19 (火)		I 9:00～10:30 原子力災害の 心理社会的影響	II 10:40～12:10 対応の実際 ～放医研の経験～			III 13:10～17:00(休憩10分×2) 【机上演習】 グループワーク ～健康影響、行政措置を考える～			
3/20 (水)		I 9:00～10:30 放射線リスクの伝え方	II 10:40～12:10 風評被害			III 13:10～17:00(休憩10分×2) 【演習】 リスクコミュニケーション(1)			
3/21 (木)		I 9:00～10:30 被ばく事故例	II 10:40～12:10 【実習】 オートラジオグラフィ(2)			III 13:10～17:00(休憩10分×2) 【演習】 リスクコミュニケーション(2)			
3/22 (金)		I 9:00～10:30 放射線の 医学・産業利用	II 10:40～12:10 【トピックス】 新たな水晶体 等価線量限度と 国内外の規制動向		III 13:10～15:40 ポストテスト・解説 (13:10～14:10) 【まとめ】討論、感想 (14:10～15:40)		15:50～ 16:00 閉講式		

注) 時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。また、講義及び実習は予定より延びることがあります。

研 修 生 募 集

春、感じる、考える、10日間

放射線防護を 実践的に学ぶ



放射線利用に伴うリスクと放射線から得られる利益を考え、科学的・客観的に原子力規制、安全面を判断し、実践することができる若い人材の育成を目的としています。特に実習・演習に重点を置いた体験型の研修が特徴です。

応募資格

理系分野の大学生、大学院生、
高等専門学校4・5年生、若手社会人

受講料 無料

学生に限り

旅費 交通費 宿泊料 支給

第3回 防護一般課程

平成31年

2月18日^月～3月1日^金

放射線の物理、測定、防護、法令など講義と実習を通じて放射線に関する基礎全般を学びます。

応募締切：平成31年1月10日(木)※

第2回 防護健康影響課程

平成31年

3月11日^月～22日^金

放射線のリスクに関して住民とリスクコミュニケーションできるよう、講義と実習を通して放射線影響について学ぶコースです。

応募締切：平成31年1月24日(木)※

※応募状況により変更になる場合があります。詳しくはWEBへ

実施場所



国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

放射線医学総合研究所

〒263-8555 千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

放医研 無料研修 検索



詳細・お申し込みはこちら

<http://www.nirs.qst.go.jp/information/training/kisei/index.html>

本研修は原子力規制庁の原子力規制人材育成事業であり、原子力規制に関わる若い人材を広く育成することを目的としています。